



近江八幡市で毎年秋に開かれる「八幡堀まつり」が、9月20、21日の2日間にわたって行われます。28回目の今回は、約3千個の灯りが町を彩り、歴史ある八幡堀と城下町の風情を幻想的に照らし出します。点灯は午後5時から。夕暮れから夜にかけて水面に揺れる光、白壁の町家に映る温かな灯りが、訪れる人々を非日常の世界へと誘います。

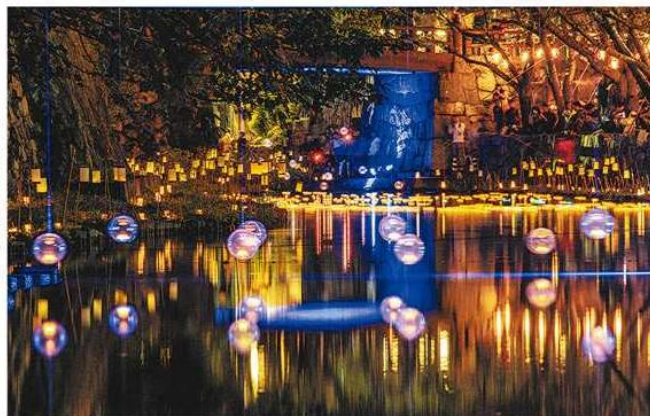
企画の中では、親子で参加できる「竹灯りワークショップ」が注目を集めています。子どもがドリルを手にも、真剣な表情で一生懸命に竹筒に穴を開け、自分だけのデザインで灯りを作ります。この体験は、子どもにとっては工具に初めて触れる貴重な時間、大人にとってはわが子の成長を実感するひとときになります。完成した竹灯りは、まつりの会場で実際に展示でき、町を照らす一灯に。自分たちの手で作った作品が町並みの一部になる体験は、も

■ 八幡堀まつり（近江八幡市）

灯り彩る城下町の風情



八幡堀を照らし出す温かな灯り



幻想的な八幡堀まつり

ちの手で作った作品が町並みの一部になる体験は、ものづくりの楽しさと達成感を親子で共有できる貴重な思い出となるでしょう。20日は「こどもまるしえ」や紙芝居、ミニフォークリフト体験、太鼓や吹奏楽の演奏、武者行列の町歩

きなど、親子で楽しめる催しが盛りだくさん。21日には「東近江消防救急フェア」もあり、防災体験を通じて学びながら楽しめます。大人向けにも魅力的な企画がそろいます。滋賀県内の酒蔵の銘酒が楽しめる飲

み比イベントの他、商店街では「宝探しスタンプラリー」や新企画「ピヤホル商店街」が開かれ、ビールやおつまみ、子ども向け飲料などが並び、にぎわいのひとときを味わえます。さらに、近江八幡市ふるさと音楽祭（20日など）、国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ（20日）も開催され、静かに芸術を楽しむ時間も魅力です。

子どもも大人も笑顔になれる、幻想的な八幡堀まつり。家族と、大切な人と、出かけてみませんか。（近江八幡観光物産協会・白石昌代）

◇【アクセス情報】JR近江八幡駅から近江鉄道バスで約10分、「小幡町資料館前」下車。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら



しが旅のススメ

